

# 令和7年度 事業報告

## I. 決算概要

|              | 令和7年度実績 | 令和6年度実績 | 増減    | 前年比    |
|--------------|---------|---------|-------|--------|
| 経常収益計        | 41,830  | 40,460  | 1,370 | 103.4% |
| 経常費用計        | 35,042  | 34,102  | 941   | 102.8% |
| 経常利益         | 8,062   | 6,936   | 1,126 | 116.2% |
| 期末現預金        | 29,338  | 20,732  | 8,606 | 141.5% |
| 館生数<br>(年平均) | 40.5    | 40      | 0.5   | 101.3% |

\*経常利益＝経常収益計－経常費用計±営業外収支 \*期末現預金：特定資産積立金を含む

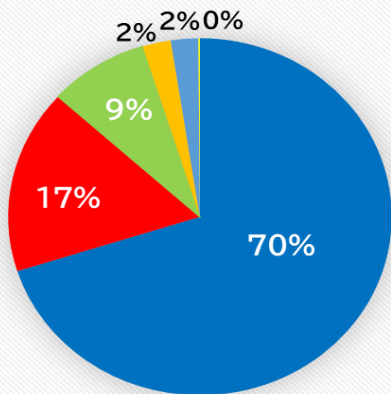
今年度の経常収益は 41,830 千円 となり、前年度（40,460 千円）に比べて 1,370 千円の増収（+3.4%）となりました。主な要因として、9 月以降、これまで空室としていた 109 号室に入居者を受け入れ、入館者数が 41 名となったこと、また駐車場の契約台数が増加したことが挙げられます。

一方、経常費用は 35,042 千円 となり、前年度（34,102 千円）から 941 千円の増加（+2.8%）となりました。主な要因は、管理人兼賄人を夫婦 2 名体制としたこと（前年度は 9 月から 2 名体制）による人件費の増加に加え、浴室タイルの張替えや共用部分の LED 照明化など、維持管理修繕費が増加したためです。ただし物価高にもかかわらず、給食費などは抑制に努めており、全体として効率的な運営ができた一年だったと考えております。

その結果、経常利益は 8,062 千円となり、前年から 1,126 千円の増益（+16.2%）となりました。収益の増加に加え、支出管理を適切に行ったことにより、過去最高益を更新する結果となりました。

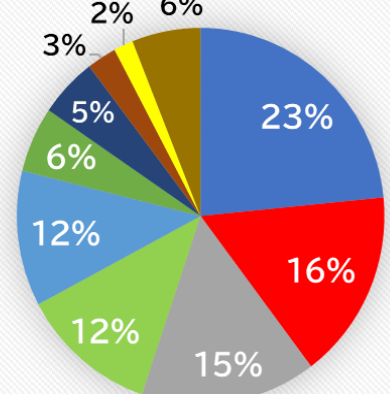
また、期末の現預金残高は 29,388 千円 となり、前年より 8,606 千円の増加（+41.5%）となりました。引き続き、安定した手元資金を確保しており、健全な財政状態を維持しております。

経常収益構成比



- 館費収入
- 育英事業協力金
- 売電事業
- 駐車場事業
- 地方公共団体補助金
- その他

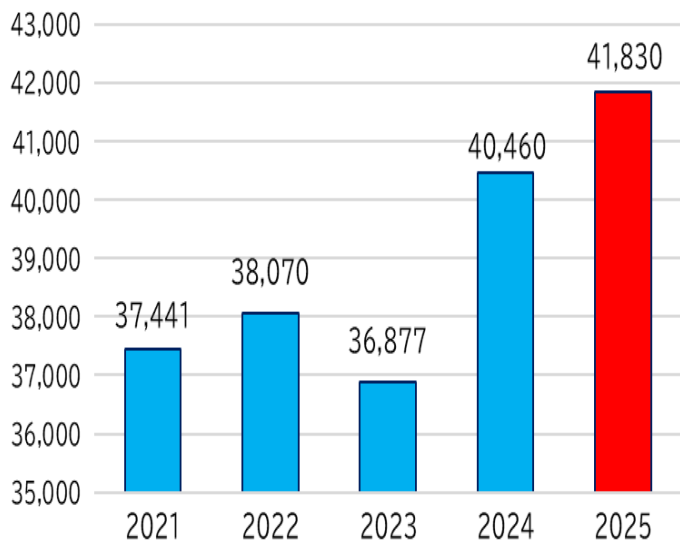
経常費用構成比



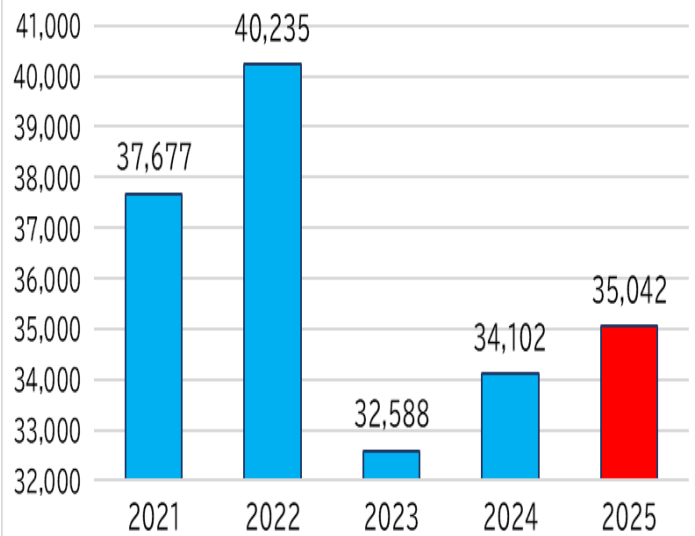
- 給料手当
- 減価償却費
- 給食費
- 業務委託費
- 租税公課
- 通信運搬費
- 消耗品什器備品費
- その他

(2021 年度～2025 年度実績／単位：千円)

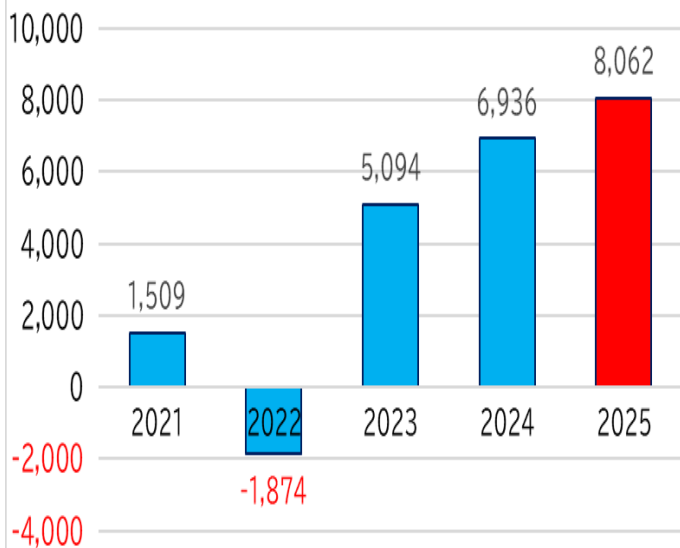
### 経常収益



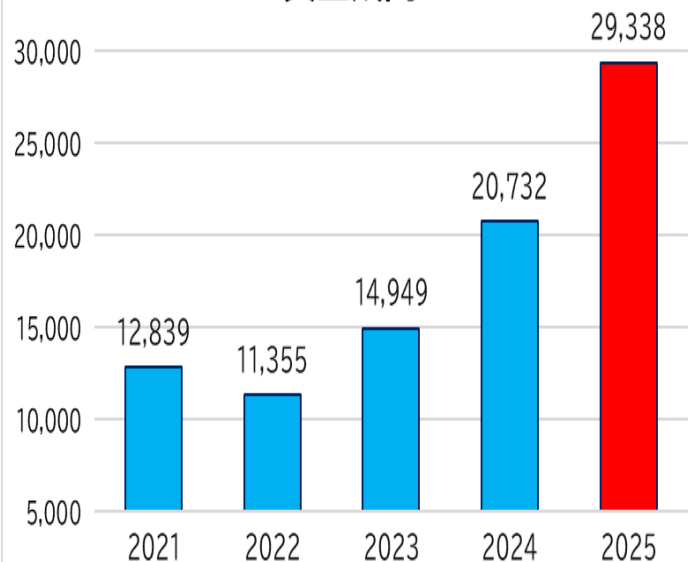
### 経常費用



### 経常利益



### 資金残高



## Ⅱ.公益目的事業

### a. リクルート活動

今年度より館生 41 名体制とし、その維持を最重要課題と位置づけ、卒退館予定者 11 名の補充に向けて早期から募集活動を開始しました。応募者の大多数が一般入試受験者であったことから、志望校の可否結果により入館意思の確定が遅れる状況もありましたが、最終的には 11 名の新入館生を迎えることができ、41 名満室で新年度を順調にスタートすることができました。

### b. 寮環境の整備

寮の新築から 22 年が経過し、各種設備機器の更新や補修が必要な時期を迎えていることから、今年度は浴室タイルの張替え、共用部分の LED 照明化およびコイン式乾燥機の買替を実施しました。次年度以降も中長期的な修繕計画に基づき、計画的な設備機器類の更新を進め、寮インフラの維持・整備に努めてまいります。

#### c. 館生支援・生活指導

館生が安全かつ規律ある共同生活を送れるよう、日常的な生活指導を行うとともに、防犯・防災意識の向上や健康管理に努めました。また、館生総会への出席や各種行事を通じて、学生生活の支援とコミュニティ形成に取り組みました。

#### d. 安全管理・防犯啓発

近年の社会情勢を踏まえ、館生の防犯意識向上を目的として、警視庁及び調布警察署の協力のもと、防犯セミナーを実施しました。闇バイトや薬物乱用防止等について講義を行い、館生の安全意識向上に努めました。

### Ⅲ.行事その他

今年度を実施した主な行事は以下の通りです。

4月：入館式（会場：長善館）

7月：郷友会ニュース夏号発行

9月：長善館セミナー（会場：長善館）

講師：警視庁第八方面本部 井関警部、調布警察署 鈴木警部補

演題：「闇バイト、薬物乱用防止に関する講義」「警視庁への就職について」

10月：記念祭／秋季大会（会場：長善館）

12月：郷友会ニュース冬号発行

2月：卒館式（会場：三進）

### Ⅳ.収益事業

#### a. 駐車場事業

近年、カーシェアリング需要が高まる中、カーシェアリング大手である タイムズカー への営業活動を積極的に行った結果、契約台数は前期末比 3 台増となりました。これにより、収益は 6,980 千円（前年度 6,349 千円）となり、前年比 110.0%の実績となりました。

#### b. 太陽光発電事業

今年度はパワーコンディショナーの故障等もなく、発電量は安定して推移しました。その結果、年間収益は 967 千円（前年度 922 千円）となり、前年比 104.9%となりました。

### Ⅴ.法人管理

#### a. 役員人事

現在の役員体制は、理事長 1 名、副理事長 1 名、理事 6 名（うち常務理事 5 名）で構成されています。2026 年は役員改選期にあたることから、長年の課題である理事の高齢化への対応および若返りを重要課題と位置づけ、次期役員体制の検討を進めてまいります。

#### b. 各種規程類の見直し

現行の規程には、法人運営上の負担となる内容も散見されることから、法令遵守を前提としつつ、時代に即した簡素で柔軟な運営が可能となるよう見直しを進めてまいります。

#### c. 財務基盤の強化

将来的な大規模修繕や設備更新に備え、経費削減と収益改善に継続して取り組み、安定的な財務基盤の構築に努めました。